

ハケ岳総合博物館 企画展「諏訪で見つかった『星の和名』、信州で発見された
新天体 -星の名前と市民科学-」開催(7/7-9/8)とプレオープン(7/6)のご案内

ハケ岳総合博物館は、7/7(日)から企画展を開催します。これに先立ち、7/6(土)にプレオープンし、午前 10:30 から担当職員による展示解説を行いますので、ご案内いたします。

【企画展概要】

- 1 企画展名 諏訪で見つかった『星の和名』、信州で発見された新天体 -星の名前と市民科学-
- 2 主 催 茅野市ハケ岳総合博物館、長野市立博物館、長野県は宇宙県連絡協議会、NIHU 広領域連携型基幹研究プロジェクト国立国語研究所ユニット「地域における市民科学文化の再発見と現在」
- 3 会 期 令和6年7月7日（日）～9月8日（日）
※休館日：月曜日（祝日の場合、開館）、祝休日の翌日
- 4 会 場 ハケ岳総合博物館
- 5 料 金 通常入館料

★プレオープン ギャラリートーク開催

- 1 日 時 令和6年7月6日（土）10:30～11:15
- 2 場 所 ハケ岳総合博物館
- 3 内 容 10:30～10:55 概要説明と展示のみどころ紹介（担当：渡辺）
10:55～ 質疑応答、撮影等

※プレオープンには、博物館学習会員ほか、企画展協力者、博物館関係者をご招待しています。

★本企画展のみどころ

- ・昔ながらの道具の展示：からすき、和太鼓、唐傘、糸車、一升ますなど星の名前になった民具
- ・冥王星の命名者 野尻抱影^{ほうえい}の和名収集ノート（大佛次郎記念館所蔵）の展示：諏訪地方で「一升星（すばる）」、湖東村で「ゴンゴーボシ（ヒアデス星団）」が使われていたことが書かれている。
- ・長野県内で発見された彗星・新星・小惑星の紹介展示：当時の書籍や天文雑誌（当館・諏訪清陵高校三澤文庫所蔵）、諏訪出身五味一明発見とかけ座新星関連新資料（当館蔵、初公開）の展示
- ・現代のツールを用いた天体発見・命名と市民科学の紹介：火星の地形観察 VR 体験など

（問合せ先）

担当 生涯学習部文化財課博物館係 渡辺

電話：0266-73-0300 FAX：0266-72-6119

E-mail：y.hakubutsukan@city.chino.lg.jp

茅野市ホームページ：<https://www.city.chino.lg.jp>